消毒用エタノール「マルイシ」

1L

消毒用エタノール「マルイシ」

火気厳禁

第　4　類
アルコール類
水　溶　性
危険等級Ⅱ

〈調剤包装単位用コード〉
(01)04987211230500

〈販売包装単位用コード〉
(01)14987211130500

キャップ：PP
ボトル：PE
ラベル：PET

使用後、フィルムをはがしてキャップをはずした後、空容器を図のようにして折り目を外側に押しつぶして下さい。（つぶした後は元に戻りません。）

MARUISHI

開封日　　年　　月　　日

1L

殺菌消毒剤

消毒用エタノール「マルイシ」

Ethanol for Disinfection「Maruishi」

日本薬局方
消毒用エタノール

76.9~81.4 vol%

製造番号

使用期限

製造販売元
㊞ 丸石製薬株式会社
大阪市鶴見区今津中2-4-2

消毒用エタノール「マルイシ」

1L

消毒用エタノール「マルイシ」

2014年9月改訂（第2版）	
日本標準商品分類番号	872615
承認番号	16100AMZ00995
薬価収載	1955年9月
販売開始	1994年4月
再評価結果	1982年8月

貯　　法：遮光した気密容器に入れ、火気を避けて保存。
使用期限：3年（表示の使用期限を参照すること。）

●禁忌（次の部位には使用しないこと）
損傷皮膚及び粘膜［損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。］

●組成・性状
1.組成
エタノール（C_2H_6O）76.9～81.4 vol%　含有。
2.性状
無色澄明の液である。
水と混和する。
本品は点火するとき、淡青色の炎をあげて燃える。
揮発性である。
比重　d^{15}_{15}：0.860～0.873

●効能・効果
手指・皮膚の消毒、手術部位（手術野）の皮膚の消毒、医療機器の消毒

●用法・用量
本品をそのまま消毒部位に塗布する。

●薬効薬理
本剤は、使用濃度において、栄養型細菌（グラム陽性菌、グラム陰性菌）、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞（炭疽菌、破傷風菌等）及び一部のウイルスに対する効果は期待できない。

●使用上の注意
1.重要な基本的注意
(1)本剤が眼に入らないように注意すること。眼に入った場合は直ちによく水洗すること。
(2)広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。
［エタノール蒸気に大量に又は繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。］
2.副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症 注)	発疹等
皮　膚 注)	刺激症状

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3.適用上の注意
投与経路：外用にのみ使用すること。
使用時：
(1)同一部位（皮膚面）に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
(2)血清、膿汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。
(3)合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
(4)本剤は引火性、爆発性があるため、火気（電気メス使用等も含む）には十分注意すること。また、電気メスによる発火事故が報告されているので、電気メス等を使用する場合には、本剤を乾燥させ、アルコール蒸気の拡散を確認してから使用すること。
4.その他の注意
承認外の経皮的エタノール注入療法（PEIT）使用例で、注入時の疼痛、酩酊感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。

消毒用エタノール「マルイシ」

1L

消毒用エタノール「マルイシ」

火気厳禁

アルコール類
水溶性
危険等級Ⅱ

JAN

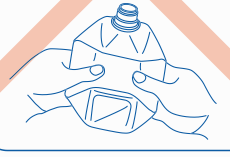
4 987211 130503

GS1-RSS

(01)14987211130500

キャップ：PP
ボトル：PE
ラベル：PET

使用後、フィルムをはがしてキャップをはずした後、空容器を図のようにして折り目を外側に押しつぶして下さい。
（つぶした後は元に戻りません。）



MARUISHI

1L

殺菌消毒剤

消毒用エタノール「マルイシ」

Ethanol for Disinfection「Maruishi」

日本薬局方
消毒用エタノール

76.9~81.4 vol%

製造番号

使用期限

製造販売元
丸石製薬株式会社
大阪市鶴見区今津中2-4-2

消毒用エタノール「マルイシ」

1L

消毒用エタノール「マルイシ」

2009年6月作成（第1版）	
日本標準商品分類番号	872615
承認番号	16100AMZ00995
薬価収載	1955年9月
販売開始	1994年4月
再評価結果	1982年8月

貯　　法：遮光した気密容器に入れ、火気を避けて保存。
使用期限：3年（表示の使用期限を参照すること。）

●禁忌（次の部位には使用しないこと）
損傷皮膚及び粘膜［損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。］

●組成・性状

1.組成
エタノール（C_2H_6O）76.9～81.4vol%　含有。

2.性状
無色澄明の液である。
水と混和する。
本品は点火するとき、淡青色の炎をあげて燃える。
揮発性である。
比重　d^{15}_{15}：0.860～0.873

●効能・効果

手指・皮膚の消毒、手術部位（手術野）の皮膚の消毒、医療機器の消毒

●用法・用量

本品をそのまま消毒部位に塗布する。

●薬効薬理

本剤は、使用濃度において、栄養型細菌（グラム陽性菌、グラム陰性菌）、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞（炭疽菌、破傷風菌等）及び一部のウイルスに対する効果は期待できない。

●使用上の注意

1.重要な基本的注意
(1)本剤が眼に入らないように注意すること。眼に入った場合は直ちによく水洗すること。
(2)広範囲または長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。
［エタノール蒸気に大量にまたは繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。］

2.副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症 注)	発疹等
皮　膚 注)	刺激症状

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3.適用上の注意
投与経路：外用にのみ使用すること。
使用時：
(1)同一部位（皮膚面）に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
(2)血清、膿汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。
(3)合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
(4)本剤は引火性、爆発性があるため、火気（電気メス使用等も含む）には十分注意すること。また、電気メスによる発火事故が報告されているので、電気メス等を使用する場合には、本剤を乾燥させ、アルコール蒸気の拡散を確認してから使用すること。

4.その他の注意
承認外の経皮的エタノール注入療法（PEIT）使用例で、注入時の疼痛、酩酊感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。